



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

6県(長崎県、佐賀県、福岡県、山口県、島根県、鳥取県)でケンサキイカ(地方名:マイカ、シロイカ)の情報(各地の漁況と底層水温)を共同発行しましたので、お知らせします。今漁期のケンサキイカ情報は本号をもちまして終了いたします。

I. 11月のイカ釣り漁況

◎各県の主要漁港における11月の水揚状況について(平年は直近の過去5年平均)。

鳥取県	主要漁港の水揚量は、前年を上回り、平年を下回りました(前年:漁獲無し、平年比2%)。
島根県	主要漁港の水揚量は、前年を上回り、平年を下回りました(前年比326%、平年比26%)。
山口県	代表2地区の水揚量は、前年を上回り、平年を下回りました(前年比176%、平年比52%)。
福岡県	代表港の水揚量は、前年を上回り、平年を下回りました(前年比1048%、平年比78%)。
佐賀県	標本漁港の水揚量は、前年と平年を上回りました(前年比666%、平年比121%)。
長崎県	標本漁港の水揚量は、前年を上回り、平年を下回りました(前年比288%、平年比14%)。

※前年・平年比の評価は、90%以下では「下回る」、91%から109%では「並み」、110%以上では「上回る」としています。

◎各県の「1日1隻当たりの漁獲量(CPUE)の月別動向」(鳥取県のみ漁獲量で表示、一部県を除き12月分までのデータあり)および「11月の漁獲サイズ」について

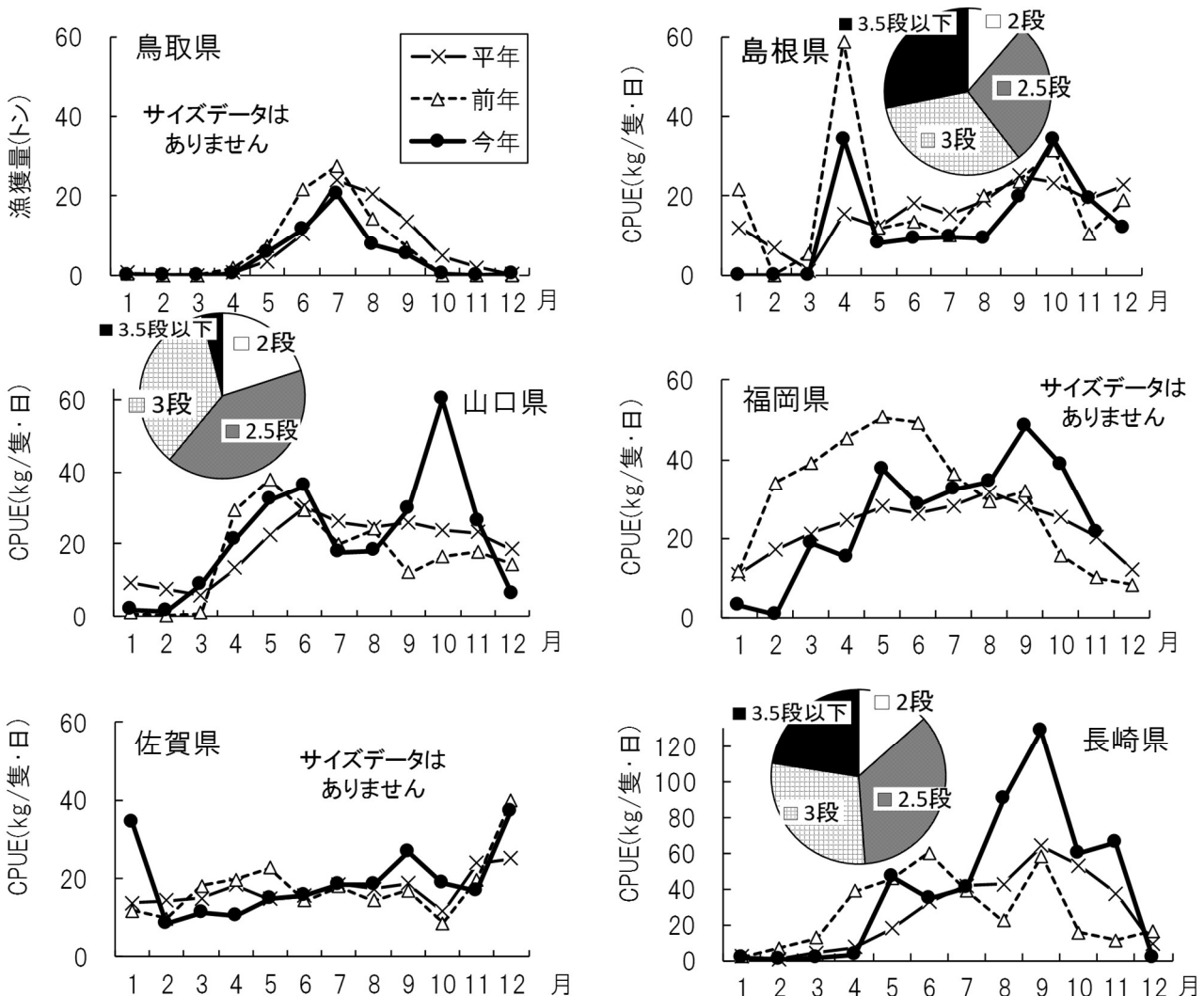


図1 各県の漁獲量またはCPUE(折れ線グラフ)および漁獲サイズの割合(円グラフ)

Ⅱ. 12月上旬の底層水温

鳥取県	陸棚域（水深 54～111m）の底層水温は 17.3～19.8℃でした。
島根県	陸棚上（水深 85～141m）の底層水温は 9.6～20.8℃でした。
山口県	陸棚上（水深 61～139m）の底層水温は 12.6～19.5℃でした。
福岡県	沖合の底層水温は 18～20℃台で、平年並み～やや高めでした。
佐賀県	壱岐水道の底層水温は 19.2～19.8℃、対馬東水道は 17.4～20.7℃で、平年値と比べ 0.3～2.1℃でした。
長崎県	五島西沖の底層水温は 16～20℃台で推移しました。

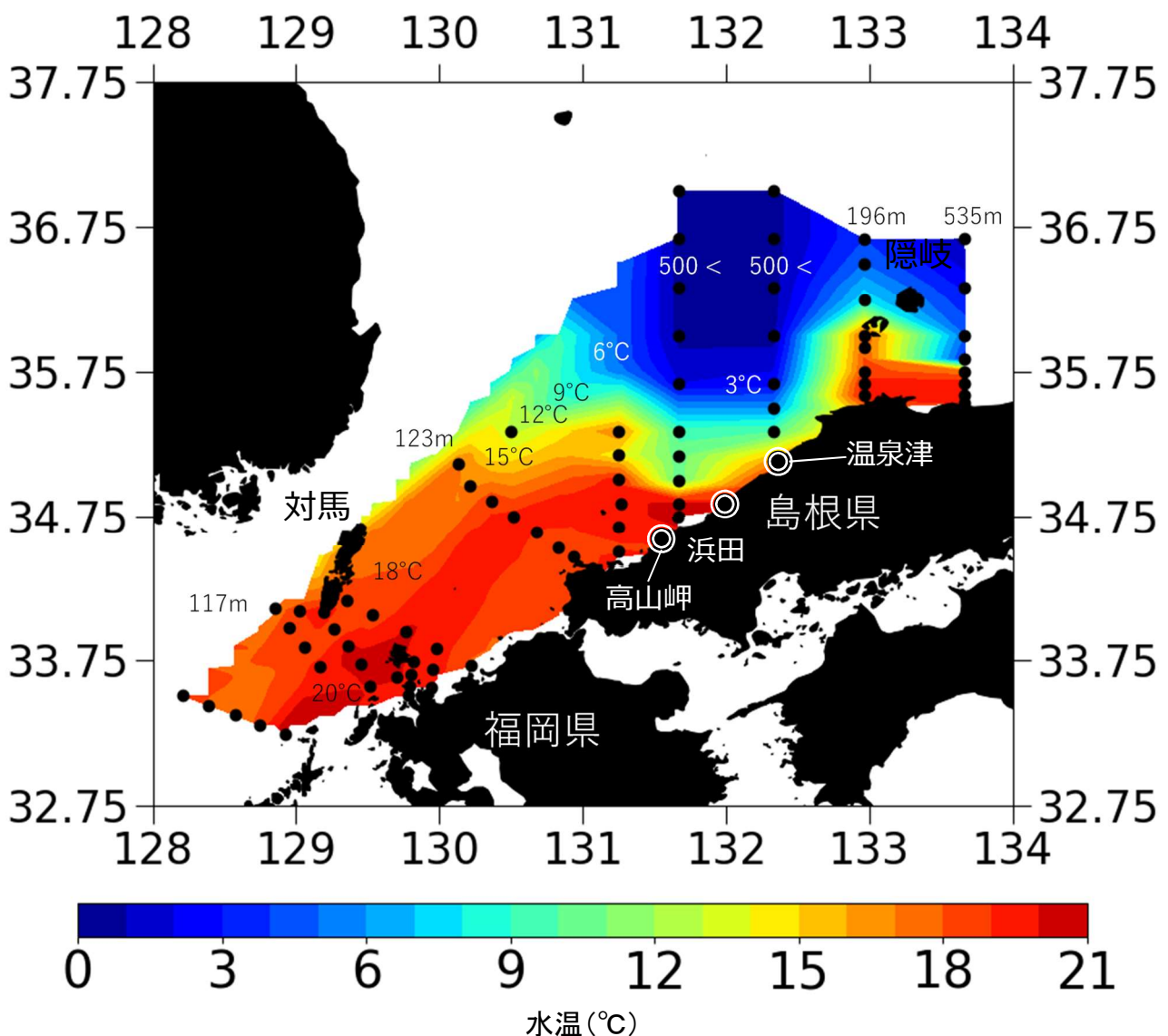


図2 長崎県～鳥取県の沿岸域・沖合域における底層の水温分布図

図中の黒丸（●）は観測点を、数字は水温もしくは水深を示しています。

※モノクロ印刷の場合、水温帯の色の識別が困難ですので、ホームページでカラー版をご覧ください。